

日刊



The Daily MANILA SHIMBUN

ASIAN INTERNATIONAL COMMUNITY INFORMATION, INC. (Printer-Distributor)

AICI, Manila Shimbun Building, 1057 Teresa Street, Rizal Village, Makati City

Tel. 890-4546 / 890-4745 Fax. 890-3640

P70.00

Since 1992 in METRO MANILA

発行 びすく社

東京都世田谷区玉川2-9-15

© BYSCH 2012

http://www.manila-shimbun.com

大学と企業が連携し計画

比スタディツアーで 今後の生き方を模索

日本の大学生にとって、7月末から9月中旬にかけては長い夏休み。海外留学・就職を望む若者が減少し、内向き思考と言われる中で、スタディツアーを通じて、充実した長期休みを過ごした学生たちを紹介する。

率3人が、8月中旬に6泊7日のスタディツアーでフィリピンに来た。環境関連企業の株式会社「土佐ひかり」が実習プログラムを作成、大学側に提案して正規の授業として採用された。

そのための、各地での交流内容を学生に課題として用意した。その課題を通して、学生たちに社会で通用する「社会人基礎力」を身につけさせる。そんな狙いがある。

ベンゲット州立大学で、フィリピン文化と日本文化を互いに紹介しあっていた。両国をつなぐ言葉の連想ゲームや、学生同士で輪をべん、貧困解消のキャベーンソング「ウィー・ザ・ワールド」を歌った。

は、行き場を失った多くの人々が非法居留者として暮らし、悪果の中、ゴミ捨てて何とかな毎日の生計を立てており、国際的にフィリピンの貧困問題の象徴として知られる。

「本を読んで分かっていて、つもりだったのに、フィリピン人が日本軍に拷問されたサンチャゴ要塞の地下壕を見たときは、何も言えなくなると、衝撃を隠さな友人に、ツアーでの体験を伝えていきたい」と、話す。

NGOアクセスのロヨラ事務局長も「戦争の悲劇を繰り返さないため、若い世代に平和を担う一員になってもらいたい」と述べ、ツアーに参加した大学生たちの今後の活動に期待している。

4度目の対決 バックヤオ ボク フィリピンの英雄、ボク対戦することに。12月8日に米ラスベガスで対決する。(19日・プレティン

日本の企業と連携して、京都産業大の学生13人(引

かり代表取締役の近藤広典さんは、初心者に海外の体

験を提供するプログラムで、一楽しめた。で終わらせ、次のステップにつながるようにすることが大切だと話す。

そのための、各地での交流内容を学生に課題として用意した。その課題を通して、学生たちに社会で通用する「社会人基礎力」を身につけさせる。そんな狙いがある。

地球市民の一員として、貧困をはじめとする社会問題に自主的に取り組み、より良い社会の建設に貢献できるように努めてもらう。そんな目的で今回のスタディツアーを開催した。

「アクセス事務所のホセ・ロヨラ事務局長は、「日本から問題意識を持った若い世代がフィリピンを訪れることは、両国の相互理解を深め、平和な世界を確立する一歩になる」と、暖衣飽食に慣れた日本の若者が、貧困の実態を直接、見聞きする意義を語った。

28日には、最終日前日の8月28日には、マニラ市イントラムロス内のサンチャゴ要塞やタキツ市フォートボニファシオの米国人墓地を訪れた。これらの訪問を通じて、参加者は16世紀から20世紀まで、スペイン、米

国、日本と三つの国に支配されたフィリピンの歴史も学んだ。

た。

英語に磨きをかけるだけでなく、さまざまな社会問題を直接、学ぶことができる。この二つが、フィリピンを実習の舞台に選んだ理由だ、という。

ベンゲット州立大学で、フィリピン文化と日本文化を互いに紹介しあっていた。両国をつなぐ言葉の連想ゲームや、学生同士で輪をべん、貧困解消のキャベーンソング「ウィー・ザ・ワールド」を歌った。

は、行き場を失った多くの人々が非法居留者として暮らし、悪果の中、ゴミ捨てて何とかな毎日の生計を立てており、国際的にフィリピンの貧困問題の象徴として知られる。

「本を読んで分かっていて、つもりだったのに、フィリピン人が日本軍に拷問されたサンチャゴ要塞の地下壕を見たときは、何も言えなくなると、衝撃を隠さな友人に、ツアーでの体験を伝えていきたい」と、話す。

NGOアクセスのロヨラ事務局長も「戦争の悲劇を繰り返さないため、若い世代に平和を担う一員になってもらいたい」と述べ、ツアーに参加した大学生たちの今後の活動に期待している。

4度目の対決 バックヤオ ボク フィリピンの英雄、ボク対戦することに。12月8日に米ラスベガスで対決する。(19日・プレティン

る。